



2022年、  
世界遺産登録5周年。  
「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

令和四年度 世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 公開講座

## 第6回 「海と人々の関わり」

古来、人々は大海原に船を出し、未知の土地へと出かけ、異文化の人々と出会い、交流してきました。穏やかかと思えば、一転して荒れ狂い、時に人々を分断し、時に人々をつなぐ海。自然と人との関わりの中で、航海の安全を願う祭祀と信仰は、古代より行われてきました。

本年度は杵岐・対馬・瀬戸内・大阪・能登と国内各地の航海に関わる祭祀の事例をみてきましたが最終回の今回は、東アジア・南太平洋へと視点を広げ、航海に関わる祭祀との比較を通して本資産の価値を考えます。

### 「日本近世の航海信仰からみた古代の持衰」

講師：山内 晋次（やまうち しんじ）先生

神戸女子大学文学部教授。

専門は日本古代・中世国際交流史、海域アジア史。日宋貿易、硫黄流通、航海信仰など、海を舞台に行われた東アジア世界の多様な交流史を読み解く。

経歴：大阪大学大学院文学研究科博士前期・後期課程（日本史学）修了、博士（文学）。主な著書：『奈良平安期の日本とアジア』（吉川弘文館、2003）、『日宋貿易と「硫黄の道」』（山川出版社、2009）、『海域アジア史研究入門』（共編著）（岩波書店、2008）、『東アジア海域に漕ぎだす1 海から見た歴史』（共著）（東京大学出版会、2013）、『日本古代交流史入門』（共著）（勉誠出版、2017）など。



### 「南方世界の造船・航海術と信仰」

講師：後藤 明（ごとう あきら）先生

南山大学人文学部教授

専門は海洋人類学、天文人類学。日本内外でカヌー復興運動に関わるほか、エアドーム式プラネタリウムを使った人類学的プラネタリウム「アンソロポリウム」を日本各地で実施中。

経歴：東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。ハワイ大学人類学学部大学院博士課程修了。Ph.D.（人類学）。ハワイ大学 T.A、同志社女子大学教授などを経て現職。主な著書：『南島の神話』（中央公論新社、2002）、『海を渡ったモンゴロイド』（講談社、2003）、『海から見た日本人』（講談社、2010）、『世界神話学入門』（講談社現代新書、2017）、『天文の考古学』（同成社、2017）など。



日時：令和5年2月18日（土）13時30分～16時00分

主催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

場所：アクロス福岡 円形ホール（定員100名 入場無料・要申込）

〒810-0001 福岡市中央区天神1丁目1-1

下記ウェブサイトから2月11日（金）までにお申し込み下さい（右QRコードからアクセスできます）、結果を5日前までにメールでお知らせします。定員超えの場合は抽選します。

<https://www.okinoshima-heritage.jp/lectures/>

（公開講座の約1ヶ月後にウェブで動画配信します）

アクセスはこちら！



問合先：福岡県九州国立博物館・世界遺産室世界遺産係

〒812-8577 福岡県博多区東公園7-7

電話 092-643-3162 FAX 092-643-3163